

6月

永く

物もたゞの思ひのほ大きい誤りである。文壇
 に於ける言才の口ハ中毒患者、西洋心解病
 者は、日本の文學、思想と云へ本頭から
 古いと思ひ、東洋の哲學、宗教と云へ云へ
 亦時代遷りの古物なと思ひあしひめるが、乃
 亦は自分も自分のあつかわらぬのと同様で
 ある。それと日本、東洋の文化を相蕙の検討
 した上で、断定を下すならぬ、或は一徹の理
 由あるものと認めらるが、
 録々、日本、東洋のあ
 とを歴史的に検討し、考察しなして、
 殊にその歴史を正確に調べた上で、

いしと貶し考ふるの亦誤謬尤、否、自家冒瀆せ
 ありう。日本の建國精神——積慶、重暉、
 善正の意義也。古事記¹⁴。日本書紀¹⁵と云へ
 も余り知らなつて、さうして日本の古代精神
 中、新しい眞實性を有する善義を知りしとが
 出来るが。また印度、支那、日¹⁶ある¹⁷本三國
 の佛教存心、支那、印度の哲學を相蕙ん考慮
 しなつて、さうして乃ちに來らんとなす新文
 明に光を投ずるべき可能性あるのを知
 る得るか。真理は伴ふし、新しいのうへに亦

久遠の

当世の所謂

高須芳次郎